

第4回枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

1. 日 時: 令和6年7月 11 日 (木) 9時 00 分～12 時 45 分

2. 場 所: 教育委員会室 (輝きプラザきらら 3階)

3. 出席者

(1) 選定委員

い だ い ぐ
井手内 太 吾 学校教育部次長

た な か よ う こ
田 中 洋 子 枚方市立山田中学校長

ち は ら ま さ と し
千 原 正 敏 枚方市立樟葉西小学校長

な か た ゆ う す け
中 田 祐 介 枚方市立枚方中学校教頭

な か の よ う こ
中 野 洋 子 (欠席) 枚方市立蹉跎小学校教頭

ま き む ら た け し
牧 村 剛 枚方市PTA協議会代表

な か や ま よ し こ
中 山 佳 子 枚方市PTA協議会代表

(2) 事務局

く つ め ぎ よ し こ
沓 拔 淑 子 学校教育部 教育指導課 主幹

こ う さ か と も み
上 坂 友 美 学校教育部 教育指導課 主幹

か き う え ゆ う や
垣 上 祐 哉 学校教育部 教育指導課 係長

4. 配付書類・資料

(1) 第4回選定委員会次第

(2) 第1回選定委員会配付資料一式

(3) 第2回選定委員会配付資料一式

(4) 資料1: 第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表

(5) 資料2: 令和7年度使用教科用図書 (中学校) 調査の報告について

(6) 資料3: 令和7年度使用中学校用教科書の見本本について

(7) 資料4: 教科書センターの閲覧者の意見

5. 次第

- (1)開会の挨拶
- (2)令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る調査員報告
- (3)令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る選定審議
- (4)その他
- (5)閉会の挨拶

6. 会議内容

教科書担当

・枚方市の附属機関条例において、委員の2分の1以上の出席が定められており、2分の1以上の出席を越えるため、会議が成立しており、条例第9条第1ページに基づき非公開となっている旨の説明。

(1)開会の挨拶

井手内委員長

- ・只今より、令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る、第4回教科用図書選定委員会をはじめる。
- ・本日は先日の第3回選定委員会に引き続き、国語、道徳、社会歴史、理科、書写、音楽、技術・家庭の調査員の代表に、この選定委員会の場へ出席いただき、全発行者の教科書について、調査結果の報告を受ける予定をしている。本日も、その調査員の報告に基づき審議を行ったうえで、教育委員会への意見を答申としてまとめるきわめて重要な会議となる。
- ・学習指導要領の目標、内容を踏まえ、本市の生徒にとって最適な教科書はどれかという視点で審議を行い、教育委員会で採択を行うにあたっての有効な意見をまとめていきたいと思う。活発なご発言を願う。

井手内委員長

- ・それでは、只今より審議に入るが、少し時間をとり、資料3の学校からの意見書及び、資料4教科書センターでの閲覧者の意見をご覧頂きたい。

教科書担当

- ・先日も見ていただいたが、学校からの意見書、および教科書センターの閲覧者の意見は、こちらにまとめている。なお、要望書についても、合わせてまとめている。適宜、ご覧いただきたい。
- ・9:15より、の調査員代表から調査報告を受けていただき、審議のうえ、答申の内容をまとめていただくことになる。自由社と学び舎の見本本について補足説明。

井手内委員長

- ・審議に入る。この後については、昨日と同様に、①学習指導要領の目標並びに内容を基本とし、府の選定審議会資料を活用しながら、よい特長の事実列記と記載するかたちで作成された調査員報告書などをご覧いただきながら、調査員代表による説明を受けていただく。説明後、質疑を行い、各自ご意見を整理していただきたいと思う。②調査員退室後、さまざまな角度からご意見をいただき、選定委員会としての一定の見解を出していきたいと考えている。③可能な限り全委員一致でまとめていきたいと考えている。④種目の

説明の順番については、資料①第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表のとおりに行う。

(2)令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る調査員報告

(3)令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る選定審議

【種目名 国語】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<国語科調査員代表 枚方市立桜丘中学校長 墨川 恵子 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・国語科では、生徒が言葉に着目して、言葉に対して自覚的になる「言葉による見方・考え方」を働かせ、言語活動を通して、国語を正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成をめざしている。各発行者の教科書において、資質能力を育成するための手段として設定されている効果的な言語活動例を説明願う。

調査員代表

・全者、第三学年を例にすると、例えば東京書籍50ページからの「絶滅の意味」では、構成や表現の仕方を学び、続いて64ページからの「『環境』の新聞 編集して伝えよう」で、新聞制作・発表をするために情報を収集し、編集会議を開いて文章の種類や構成を検討・制作する活動が取り扱われている。三省堂52ページからの「批判的に読む」では、本文や二次元コード「読み方」解説動画で学習した後、56ページからの評論文「間の文化」を読み、その後図表や資料を使い条件に応じて文章を書く活動、交流を通して文章を推敲する活動、学びを振り返る活動が取り扱われている。教育出版76ページからの「AI は哲学できるか」では、吟味しながら批判的に論説文を読んだ後、具体例を基に説明文を書く活動が設定されており、論理の展開や構成を考えながら、考えの形成・記述・推敲した後共有するという活動が取り扱われている。光村図書44ページからの「作られた『物語を超えて』」では、具体と抽象の関係について学び、それらを活用して根拠となる情報を集め説得力のある構成を考え、書いたり話したりする活動が取り扱われている。

井手内委員長

・本市においては、平成 30 年より19中学校すべてに学校司書を配置し、令和3年度からは小学校へも順次

配置をすすめている。教育活動の中において9年間を見通した読書活動、とりわけその基盤となる学校図書館を大きな柱としてとらえている。学習指導要領においても、読書活動が「国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである」ことをふまえ、国語科の学習が読書活動に結び付くように位置付けられている。このような観点から、「読書」の取り扱いに関して特長のある発行者はどれか。具体的に例をあげて説明願う。

調査員代表

・「読書」の取扱いについては、全者、本編や資料編、巻末における書物の紹介などで、作品の一部を紹介したり、紹介作品をテーマ別にしたり、名作を紹介したりするなど、読書意欲を喚起するよう工夫している。1年生の教科書を例にすると、東京書籍は180ページ「お試し読書のすすめ」で4つの種類の本の一部を紹介し、186ページ「読書案内 世界を広げる本」で多様な種類の本を紹介している。また、教材ごとに、「読書案内」で作者や教材のテーマに関連した本を紹介している。また、三省堂では、様々なテーマ別に多様な本が244ページ「読書の広場 小さな図書館」で紹介されている。また、作者や教材のテーマに関連した本を紹介する「私の本棚」、作家の読書体験を紹介した94ページ「私の読書体験」などがある。教育出版は様々なテーマ別に多様な本が32ページ「広がる本の世界」で紹介されている。また、56ページ「読書への招待」で、作者や教材のテーマに関連した本が紹介されている。光村図書は読書活動、本の一部の紹介、多様な本の紹介、コラムを84ページ「いつも本はそばに」としてまとめている。また、教材ごとに「広がる読書」で作者や教材のテーマに関連した本が紹介されている。

中田委員

・学習指導要領では、伝統的な言語文化に関する指導の改善・充実が求められている。中学校においては、生徒が現代と古典の世界とのつながりを感じ、伝統的な言語文化の世界に親しみ、考えを深めることができるよう指導することが大切だと考える。その点から、各発行者の教科書を見たとき、それぞれどのような特長があるか。具体的に説明を願う。

調査員代表

・古典教材の取扱いについては、全者、第一学年で「竹取物語」「矛盾」、第二学年で「枕草子」「徒然草」「平家物語」漢詩または論語、第三学年で「おくのほそ道」「万葉、古今、新古今和歌集」論語または漢詩が取り扱われている。第一学年には、「竹取物語」までの導入教材として「御伽草子」や「伊曾保物語」「いろは歌」などの作品を一、二教材、取り扱っている。また、カラーの写真や挿絵、図などの資料により、興味、関心が高まるよう、工夫されている。その中で、東京書籍では、第一学年の導入教材が実質三教材あり、他者より多くなっていて、古典により多く触れさせ、慣れ親しませる観点での工夫があると考え。また、教育出版では、第二学年で「論語」、第三学年で「漢詩」を取り扱っており、他者と「論語」「漢詩」における取扱い学年の構成が違っている。光村図書では第一学年での「竹取物語」への導入教材が「いろは歌」、三省堂においては、「月を思ふ心」のみではあるが、古典の知識だけでなく、深く味わい、親しみをもち、時代のつながりが意識できるよう、ビジュアルな資料を充実させている。

千原委員

- ・これから先の未来を担う子どもたちには、予測困難な状況においても、自分で見通しをたて、物事を多面的に捉え、論理的に思考し、自分の考えを豊かに表現し、伝え合う力を高めていくことが求められる。このような点を踏まえたとき、特長がある発行者があれば、具体的に説明を願う。

調査員代表

- ・どの発行者においても、生徒が学習における見通しがもてるよう、巻頭の資料により、教科書の構成や、学習の進め方が示され、また、多角的な視点をもてるよう工夫がされている。特に、東京書籍においては、各単元における「てびき」の中で、学習のながれがわかりやすく示され、「言葉の力」で、学習のポイントがひと目でわかるようになっている。また、新設「未来への扉」では、各学年末に、特定のテーマについて多角的な視点から考えを深め、他者と伝え合うことを通して現代社会の課題と向き合うことができるような工夫が見られる。三省堂においては、各単元における「学びの道しるべ」の中で、何を学ぶのか、どのように考えればよいのか等、学習のながれがわかりやすく、かつ視覚的に示されている。また、「思考の方法」では、複数の思考の方法と、思考を手出すける複数のチャートの使い方の例が示されおり、子どもたちが、物事をより多くの面から見つめ、深く考え、対話を生み出し、問いを重ねて探究し、主体的で深い学びを生み出すことができるよう、工夫が見られる。

井手内委員長

- ・本市の生徒にとってふさわしい教科書を二者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

- ・本編と資料編、文学的な文章と説明的な文章、古典、現代の作品、そして学習のながれの見通しの持ちやすさ、物事を深く考える手立てなど、学習活動に係る教材の質と量のバランスを総合的に考慮すると、東京書籍、三省堂を推薦する。

井手内委員長

- ・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

- ・調査員代表、ありがとうございました。

<国語科調査員代表 枚方市立桜丘中学校長 墨川 恵子 退室>

井手内委員長

- ・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・東京書籍は、各単元での、学習の流れのわかりやすさ、古典の教材の工夫、考えを深める題材の工夫等、よい特長が認められる。三省堂は、各単元での学習の流れが、視覚的にみても非常にわかりやすい点、「思考の方法」など、子どもたちが物事を深く考える手助けとなる工夫等、よい特長が認められる。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。意義はないか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 道徳】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<道徳科調査員代表 枚方市立招提北中学校長 狩野 雅彦 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・先ほどの報告の中で、すべての発行者が多面的・多角的に考え、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているとあったが、特に工夫がされている発行者について、具体的に例をあげて説明願う。

調査員代表

・報告した通り、どの発行者も問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた構成とし、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているが、特に工夫がされている発行者として、東京書籍と光村図書と日本文教出版について具体的に説明する。東京書籍の、1年生の表紙をめくり、目次をご覧いただきたい。「PI us」という教材と関連したテーマを深化・拡大されるコラムが13ページ、28ページ、38ページさらに、それ以降も多数掲載されている。続いて106ページ、「Plus」の中で探究の対話「p4c」による活動が各学年で1回ずつ実施できるよう設定されており、安心して発言することができるルールにより、対話を促す工夫がされている。光村図書の、1年生38ページでは、問題解決的な学習を取り入れた「チャレンジ 問いを立てよう」が設けられ、3学年ともに、生徒が道徳的価値からぶれずに問いを立てやすい「友情、信頼」のページで設定されている。続いて75ページ、体験的な学習を取り入れた「チャレンジ 演じて考えよう」が設けられ、

各学年において多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。また、日本文教出版では道徳ノート本冊と道徳ノートの 2 冊構成になっている。日本文教出版の『道徳ノート』では、学校現場からの声を受けて工夫が重ねられ、振り返り欄の下には自由欄があり、先生や保護者がコメントを残すことができるようになっている。

井手内委員長

・道徳の特別の教科化の大きなきっかけとしては、いじめ問題だと聞いている。依然として様々な態様のいじめ事案が生起し、重大事態へと発展することもある。いじめは「誰にでも」「どこでも」起こり、加害者・被害者になりうるものとして、生徒にとって身近な問題であり、自分ごととして捉え、多面的・多角的に考えを深めることができる問題であると考えているが、いじめ防止に係る観点で見たときに、各発行者の教科書にどのような特長が見られるのか説明を願う。

調査員代表

・いじめは、重大な人権侵害事象と捉えている。いじめについて、どう取り扱っているのか、全発行者について、説明させていただく。日本教科書は、題材として学校生活の中で「いじめ」に陥りやすい場面を積極的に取り入れている。学研は、最重要テーマに「いのちの教育」を掲げ、いじめ防止との関連を図っている。あかつき図書および教育出版は、重点的に考えたい4つのテーマの一つに位置付け、いくつかの題材をユニット化して、継続して学びを深められる構造にしている。日本文教出版は、特色として「いじめに正面から向き合う」を 1 番に掲げており、1 年間の中でいじめの認知件数が増加する時期に、複数に分けていくつかの題材をユニット化して設置している。東京書籍では、「いじめのない世界を」と題したユニットを全学年に設け、読み物教材だけでなく、イラストや漫画の教材も用意されている。光村図書では、クラスのいじめ対策につなげることができるように、各学年の早い時期（6 月頃）に「いじめを許さない心について考える」と題したユニットを設けている。

千原委員

・道徳教育の目標を達成するために、生徒の発達段階を考慮した内容となり、身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育むことが求められる。現代的な課題として SNS 等のネットトラブルが挙げられる。この問題について自分との関わりで考え、生徒自身で成長を感じるよう工夫されている発行者はどれか。具体的に例を挙げて説明願う。

調査員代表

・全ての発行者において、現代的な課題として情報モラルについて扱いがあり、思考を深め、ねらいに迫るよう工夫されている。1 年生の教科書でみると、インターネットで入手した情報の成否について、日本教科書の 32 ページやあかつき図書の 63 ページにおいて扱われている。また、スマートフォンやタブレット端末の節度ある使い方について、光村図書の 89 ページや東京書籍の 44 ページにおいて扱われている。教育出版の 68 ページでは、ソーシャルメディアにおけるルールとマナーについて、日本文教出版の 66 ページでは著作権法等の法令との関連について、学研の 25 ページでは、SNS での会話について、など、各者様々な題材で情報モラルを扱っている。

中山委員

・各発行者においては、多感な子どもたちの年代に、学んでほしいことがたくさん書かれていると感じた。限られた授業時間の中でしっかり学んでほしい。二次元コードにも情報がたくさん含まれており、どの教科書も非常に工夫がされていた。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・どの発行者も適切に取り扱われ、限定するのが難しいが、挙げるならば、東京書籍と日本文教出版である。東京書籍は、生徒が教材から見つけた問いについて対話を通して考える「p4c」が、各学年で1回ずつ活動できるように設定されており、その進め方やルールも示されている。道徳の授業の中で多様な考えを生徒同士が共有することにより、安心感のある授業を進めることができるように工夫されていることが大きな理由である。また、「NHK for School」の番組とのコラボ教材も収録されており、授業に参加しやすいように工夫されている。日本文教出版は、「いじめに正面から向き合う」のテーマ通り、1年間の中で複数回「いじめと向き合う」と題したユニットを設置している。また、本冊と道徳ノートの2冊で構成されており、道徳ノートは種々の授業展開や多様な話し合い活動に対応できるよう工夫されていたり、生徒が自分自身の成長を実感することができたり、教師や保護者も子どもの学びや成長を確認できるようにしていることが大きな理由である。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<道徳科調査員代表 枚方市立招提北中学校長 狩野 雅彦 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・東京書籍は、探究の会話「p4c」が、各学年で1回ずつ活動できるように設定されており、その進め方やルールも示されていることが特長的で、安心感のある授業を進めることができるように工夫されていることが良い特長であると言える。また、日本文教出版は、「いじめに正面から向き合う」をテーマとした構成となっており、いじめを市全体の問題としてとらえ、いじめ防止対策に取り組む本市の方針に合致するのではないか

と考える。他の発行者にもよい特長がそれぞれあるので、その辺りも併せて教育委員会に答申したいと思う。
異議はないか。

<異議なし>

井手内委員長

では、他の発行者の特長も含めて答申する。

【種目名 社会歴史】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<社会科歴史調査員代表 枚方市立枚方中学校長 西村 英理 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・主体的・対話的で深い学びを実現するために、「歴史的な見方・考え方」を働かせることが、歴史的分野の目標に明示されている。生徒が自ら積極的に「歴史的な見方・考え方」を働かせて学習をするために、発行者はどのような工夫をしているか。説明願う。

調査員代表

・9者、すべての発行者が、巻頭や序章・第1章に歴史の見方・考え方について、時期年代、推移、比較、相互関連、解説している。また、テーマを設定して調査研究、まとめ発表の学習方法を解説して、生徒が歴史について自分事として探究していくことができるように、歴史を学問として学びを進めていけるような工夫が見られた。東京書籍では、テーマと問いの設定として、調査、考察、まとめ、発表、振り返り（フィードバック）と探究的な学習過程を明記して、歴史を探究的に学ぶための工夫が明確である。教育出版では、問い、調査、整理考察、まとめ、発表、振り返りとして探究的な学びが展開できるようになっている。帝国書院では、「歴史の謎を探ろう」として、歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方を明記し、調査学習への関心を持たせている。日本文教出版では、テーマ決め、課題設定、調査、考察、まとめと報告として探究的な学びを生徒自身だけでも展開できるように図やイラストをもとに例示している。山川出版社では、テーマ設定、調査、レポート発表として学習展開を説明し、また、調査のスキルとして具体的な方策を示している。自由社では、調査や人物カードの作成を、堺市の歴史を具体例として4つの調査班がまとめた結果を掲載している。最後には、各調査

によって学習した内容を示している。育鵬社では、テーマ決め、調査、分類・分析・整理、発表として歴史の調べ方を説明し、大阪の歴史調べを具体例として掲載している。学び舎では、他教科・他分野との関連を含めて、社会的事象や現代的諸課題について、より深く理解し、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。例えば、「第6部の学習のまとめ」では、国際社会の課題をテーマに、日本ができることを考えたり、歴史と現代をつなげて考えたりする学習展開が示されている。

令和書籍では、テーマ決め、疑問を持つ、調べる、まとめる、発表する、振り返るとして探究的に歴史調べ学習が展開できるようにしている。

中田委員

・学習指導要領には、「歴史に見られる課題を把握して複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力」とあるが、例えば、これからの日本の課題に対する、各発行者の取り扱いはどのようなになっているか。説明願う。

調査員代表

・どの発行者も、「グローバル化」の進展にともなうこれからの世界と日本が克服すべき課題として、複数の立場を取り上げつつ、公正に選択・判断できる公民的資質の育成をめざした学習課題を設定している。東京書籍 272 ページでは探究課題として、戦後日本の発展について考察させる際にピラミッドランキングを活用して、他の人のそれぞれの立場や考え方を比較関連させた話し合い活動を設定している。教育出版、288 ページでは、SDGS を元に問いを立てさせて歴史学習で学んだ視点を生かした課題解決について話し合う学習活動を設定している。帝国書院 305 ページでは、章の問いの考察のために、ランキング型の思考ツールを活用して、他の人の立場や考え方を知る話し合い活動を設定している。山川出版社 283 ページでは、現在の世界の課題について、それぞれの自分の考えをまとめる学習課題を設定している。日本文教出版 291 ページでは、ランキング型の思考ツールを活用しながら話し合いを進めさせて、その話し合いから「未来に日本はどうあるべきか。」というあらたな問いを投げかけ、歴史的な視点で探究学習が行えるように学習活動を設定している。自由社 287 ページでは、歴史学習から気づいた現代社会の課題について複数の意見を提示して、考えさせる題材を示している。育鵬社 279 ページでは、学習のまとめとして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、理由を合わせてまとめさせて、それぞれの考えを話あわせる学習活動を設定している。

学び舎は、他教科・他分野との関連を含めて、社会的事象や現代的諸課題について、より深く理解し、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。280 ページ「第6部の学習のまとめ」では、国際社会の課題をテーマに、日本ができることを考えたり、歴史と現代をつなげて考えたりする学習展開が示されている。令和書籍 459 ページでは、現代のまとめとして、政治・文化・外交・産業についてそれぞれの問いで考えまとめる学習活動を設定している。

千原委員

・教科書を使って、教師がすべての子ども達の学びを保障することが大切だと考える。経験の浅い教師が教える場合も、子どもたちの理解につながるように、しっかりと内容が整理された特長的な発行者があれば事例も挙げて説明願いたい。

調査員代表

・どの発行者も教師が系統立てた指導を行いやすく、生徒が主体的に学びやすい教科書になるように工夫されている。今回の調査に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図られるものとなっているか。そして生徒が主体的に自分事として歴史学習をすすめることができるように探究的な学習展開がおこなえるか。この視点を踏まえると、中でも東京書籍は、各章ごとの学びの導入や、学習のまとめの課題に、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う具体的な学習課題が設定されている点や、各章の学習サイクルが探究的な学びのプロセスとなっている点が大きな特長である。日本文教出版は、先ほどの特長を備えつつ、編(章)の初めの学習で、ポートフォリオを活用して、学習の予測をさせて事後に比較させるという学習活動をとおして、生徒が主体的に歴史課題に対して自分ごととして考えさせる工夫が見られ、大きな特長と言える。この、東京書籍と日本文教出版は、どちらも、デジタルコンテンツにおいて、章の導入動画や知識の確認プリント、思考を深めるためのワークシートやポートフォリオなどが章ごとに整理され、順番に配置されているため、生徒が自らの力で学習をすすめることができる、教科書となっている。

牧村委員

・一般市民、団体の方からも、社会科歴史においては、たくさんご意見をいただいている。そのお声も参考にしながら採択をいただければと思う。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・東京書籍と日本文教出版である。この2者は、学習指導要領にある社会科の目的に則って学習が構成されており、章の大きな問いと単元である節の問いを提示し、問いを明確にすることで探究学習・探究サイクルを回す学習展開となっている。そして、章のまとめの学習において、主体的・対話的で深い学びとなる学習課題を設定している。このように丁寧に学習課題の設定がなされていることで、経験の浅い教員でも、主体的、対話的で深い学びがある質の高い授業を行えるようになっており、社会科の目標である、歴史的な見方・考え方を育むことができると期待できます。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<社会科歴史調査員代表 枚方市立枚方中学校長 西村 英理 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・教員や市民からのアンケートでは、どのような意見が寄せられていたか。

教科書担当

・アンケートをみると、「今の教科書はカラーで見やすい」や「実際に指導される教師の方々が使いやすい教科書を選んで欲しい。」「平和、人権、民主主義思想に貫かれた内容であるべき。」「話題性のある事例を説明しているのは、学習する子どもたちの興味を引きおこす。」「史実とは違うことが書かれているようなものは使わないで欲しい。」「戦争のおごさ、愚かさを知り、また、起こしてはならないことを学べるものが子どもにとって一番いい。」といった意見が寄せられている。

井手内委員長

・東京書籍は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う具体的な学習課題が設定されている点や、各章の学習サイクルが探究的な学びのプロセスとなる構成になっている点が特長であると考えます。また、日本文教出版は、各章の学習サイクルが探究的な学びのプロセスとなっており、編の初めの学習でポートフォリオを活用して、学習の予測をさせて事後に比較させるという学習活動をとおして、生徒が主体的に歴史課題に対して自分事として考えさせる工夫が見られ、主体的・対話的で深い学びができる構成や個別最適な学びを進められる工夫が認められるが、いかがか。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。異議はないか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 理科】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<理科調査員代表 枚方市立川越小学校長 中道 寿美代 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図るために、理科では「理科の見方・考え方」を働かせて、見通しをもって観察・実験を行うなど、問題を科学的に探究する学習活動の充実を図ることが大切である。このような観点において、各発行者の教科書ではどのような工夫がされているのか、説明願う。

調査員代表

・どの発行者においても、探究の進め方を掲載しており、科学的な見方や考え方ができるよう説明されている。東京書籍については、各学年、例えば1年生の巻頭の3ページでは、「『探究』の流れを確認しよう」で活動例と教科書に記載している流れが示されている。また、1年生の16ページにあるように「理科の見方・考え方」の視点が示されている。大日本図書については、各学年の巻頭に「理科の学習の進め方」があり、1年生の巻末268ページに「探究の進め方」が記載されていて、科学的な見方や考え方の例も挙げられている。学校図書については、すべての学年、1年生では4ページ～の巻頭の「理路整然」において、同じ内容の探究の進め方が掲載されている。また、見方・考え方は、ページの下部に示されている。教育出版では、各学年の巻頭、1年生では5ページに「探究の進め方」があり、学年に応じた疑問の内容になっている。また、いつでも探究の流れが確認できるように、探究の流れがページ左側に見えるように工夫されている。啓林館については、すべての学年の巻頭に「探究をはじめよう」があり、探究の過程だけでなく、学年に応じた内容で探究の流れが示されている。そして、巻末には「探究の流れと探究のふり返し」で探究の流れのチェックができるようになっている。取り外して書き込める「探Qシート」も用意されており、これを用いて、まとめることで、より学習が深まる。

中田委員

・理科において、生徒が探究の過程を通じた学習活動を行った際、生徒の考えがどのように変容したか、また深まったかを生徒自身が知ることが大切だと考える。その観点で各発行者の教科書を見たとき、生徒自身が振り返ることができるよう、工夫している発行者の教科書について、特長を説明願う。

調査員代表

・東京書籍では、章末ごとに「学んだことをチェックしよう」があり、単元末には、「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」がある。大日本図書については、章末ごとに「章末問題」があり、単元末には「探究活動」「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」がある。学校図書については、単元末に「学習のまとめ」があり、巻末に「計算問題 例題」「読解力強化問題」がある。一人一台端末の活用に向けた工夫として、チャットボットによる質問に対応する工夫がある。教育出版では、章末や途中に「要点をチェック」があり、章末にある「学習後の私」では、学んだことを活用する問いがある。単元末には、「要点と重要用語の整理」があり、確認できるチェック欄がある。また、「基本問題」「活用問題」が、巻末には「学年末総合問題」がある。啓林館では、章末ごとに「Review ふり返ろう」があり、用語の確認や章での考え方が身についているか「～説明

しなさい。」という問いに対して、文章で表現させたり、「自分の考えが変わったのはどんなとき?」「もっと知りたいこと、やってみたいことはどんなこと?」と理解を深めたり広げたりする問いかけがある。単元末には、「学習のまとめ」「学んだあとにリトライ」「力だめし」「みんなで探 Q クラブ」がある。

田中副委員長

・学習活動において、生徒が疑問を形成し、課題を設定・自己の考えを形成していく際、意見交換や議論など、協働的な学びを適宜取り入れていく必要がある。発表し、議論を深めるためのヒント等、特に特長のみられる発行者の教科書ではどのような工夫がされているのか説明願う。

調査員代表

・東京書籍について、どの学年にも(1年生は4ページ)「議論のしかた」「発表のしかた」が掲載されており、話し合いをすすめていくヒントが掲載されている。大日本図書では、「話し合おう」(1年生は 43 ページ)写真や吹き出し等で、どのように話をすればよいか掲載されている。啓林館については、1,2年生の巻末にあるサイエンス資料で(1年生は 261,262 ページ)、「理科における話し合い」「探究の成果を発表してみよう」があり、学年に応じた内容になっている。

千原委員

・生徒が理科での学習と、日常生活とを結び付け、自らの興味・関心等に応じて主体的に学びを進めていくことが大切だと考える。そのための工夫が、特にみられる発行者があれば説明願う。

調査員代表

・どの発行者においても、興味・関心を持つことができるよう工夫が見られ、キャラクターが生徒の理解や考えを深めるヒントを出している。特に、東京書籍では、「科学の本だな」で、新たな疑問や解決方法を見つけるヒントとなる本が紹介されている。また、単元や章のタイトルだけでなく、基礎操作のページも記載されている目次では、「読み物」として、日常生活や社会、職業との関連を示すコラムが多く掲載されていて、子どもたちに興味を抱かせる工夫がある。啓林館では、自分自身の考えを深めるための思考ツールがサイエンス資料に紹介されており、探 Q シートを活用することで、主体的に自分の考えを深め、考えの変容や学んだことの確認ができるようになっている。また、目次においても、単元や章のタイトルだけでなく、「観察・実験などの技能」や「発展」、学んだことが身の回りで活用されていることがわかる「科学コラム」、「サイエンス資料」等、興味・関心をもつきっかけとなる工夫が多く見られる。さらに教科書に出てくる「マーク」などもわかりやすく掲載されている

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・東京書籍と啓林館になる。東京書籍は、絵や吹き出しを活用し、興味をもって読む工夫や、ページの左下には「問題発見」「仮説」「分析」などの表記があり、探究の過程のどの部分なのかを意識でき、構成の面に

において工夫されている。啓林館は、探究の過程で自分の考えを自由に書き込み、対話や結果をふまえて考えの変化をみとることができる「探 Q シート」が、生徒が学ぶうえでとても有効であると考えている。また、行間がひろく読みやすく、挿絵や写真が大きく見やすくなっていることもよい特長だと考える。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<理科調査員代表 枚方市立川越小学校長 中道 寿美代 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・東京書籍は、絵や吹き出しを活用し、興味をもって読む工夫や、「問題発見」「仮説」「分析」などの表記があり、探究の過程のどの部分なのかを意識でき、構成の面において工夫されている。啓林館は、探究の過程で自分の考えを自由に書き込み、対話や結果をふまえて考えの変化をみとることができる「探 Q シート」が、生徒が学ぶうえでとても有効であり、身の回りの科学を多く取り上げることで、生徒の興味・関心をひきだす工夫がみられることが良い特長である。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。意義はないか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 書写】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<書写調査員代表 枚方市立交北小学校長 椋山 佐由里 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いする。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

中田委員

・書写では、自分の文字をよりよくしていきながら、自ら考え、伝え合い、社会生活の中で生かせる書写の力を身に付けることが大切である。この観点からみて、各発行者の教科書は、どのような特長があるか。具体的に説明を願う。

調査員代表

・東京書籍 39 ページの「生活に広げよう」では、職場訪問を取り上げ、書写で学習してきたことをどのように生かすことができるのか考えられるよう、実際の学習に役立つような内容となっている。三省堂 44 ページの「やってみよう」では、これまでに学習したことを生かして、1 年間をまとめたグループ新聞を作成する際の手順や方法について取り上げている。教育出版 32 ページの「学校生活に生かして書く」では、校庭の植物の観察をレポートにまとめたり、次の見開きページで、お薦めの本の帯やポップを作ったりする内容になっている。光村図書では、64 ページのように学年末ごとに「情報収集の達人になろう」「職業ガイドを作ろう」「冊子にまとめよう」などを取り扱い、日常生活や学習活動に活用できるような内容になっている。

田中副委員長

・毛筆において、中学校では新しく「行書」の書き方を学ぶ。毛筆を学習する際の、各発行者の特長について、具体的に説明を願う。

調査員代表

・東京書籍、三省堂、教育出版においては、毛筆の教材では基本的に見開き左ページ、または右ページに手本が示され、それぞれ、目標を確かめながら、学習の進め方にそってわかりやすくポイントが配置されている。また、どの発行者も二次元コードを添付し、毛筆の書き方や補充教材、参考資料について、映像で見ることができるようになっている。特に光村図書では、基本的に見開き 2 ページにわたり、教材の手本が大きく示され、手本の前ページには、学習の進め方にそって、目標やポイントが、余白を多くとることでわかりやすく配置されている。また、豊かな文字文化に触れることができるよう、「書初めマスターブック」がついている。

千原委員

・書写においては、小学校からの円滑な接続を図り、基礎・基本を定着させて、高等学校へと、繋げてゆくことが大切である。この点について、各発行者がどのような工夫をされているのか、その特長を説明願う。

調査員代表

・どの発行者においても、小学校から中学校への移行がスムーズに行えるような工夫や、高等学校への接続として、中国の古典を効果的に扱っている箇所が見られる。東京書籍では、6・7 ページで「はじめに」と題し、姿勢や筆記具の持ち方・基本の点画等、これまで小学校で学んできたことが振り返られるようになっている。

また、101 ページ、「書の古典」では、楷書・行書・隸書・かなの書体や同じ楷書を書いた唐の四大家の書風を比べ、高等学校の書道部の活動を紹介している。三省堂では、6 ページより、「学習のはじめに」と題し、姿勢と構え方、大筆の持ち方等、小学校での学習内容を、整理して示してある。また、高等学校へつなぐ工夫としては、86ページ、「書の古典」として、書き手による字形や個性の比較をする内容がある。教育出版では、巻末資料の121ページから、「小学校で学習した漢字一覧表」が掲載されており、小学校で学習した漢字をいつでも振り返ることができ、94 ページの「書の古典の鑑賞」コラムでは、高等学校への接続を意識し、唐の四大家を紹介している。光村図書では、30ページから、小学校での学習内容をまとめた「中学書写スタートブック」を設け、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を活用の中で定着できるよう、配慮がされている。高等学校への接続としては、コラム「文字の歴史を探る」で、文字はいつ、どのようにして生まれたのかをたどる資料があり、巻末の「なりきり、書聖・王羲之」では、王羲之の書風を鉛筆で実際になぞって体験することができる工夫が見られる。

中田委員

・すべての生徒にとって使いやすく、わかりやすいよう、ユニバーサルデザインの観点から、各発行者の教科書を見たとき、特に特長のある発行者の教科書について、具体的に説明を願う。

調査員代表

・どの発行者も、それぞれのページにおいて色調が統一されており、落ち着いて学習することができる。また、硬筆練習をする際、手本字が上に書かれており、右利きの生徒も左利きの生徒も、手本を見ながら練習しやすいよう、配慮がされている。東京書籍、17 ページ、光村図書96ページにおいては、UD フォント自体を取り上げ、特に光村図書においては、「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」と題し、見やすさ、読みやすさにこだわった活字の書体について、子どもたちに考えさせることができるような、工夫が見られる。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・東京書籍と光村図書を推薦する。東京書籍は、身のまわりの文字の事例が多く、日常生活や学習活動に活用できる題材が充実しており、書写の学びを生活に生かす工夫が見られる。光村図書は、教材の手本が大きく示され、目標やポイントが、余白を多くとることでわかりやすく配置されており、学びやすく、教えやすい内容となっている。また、「別冊書写ブック」や「書初めマスターブック」をはじめとする、書写学習の基礎・基本が掲載されている資料が豊富である。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<美術科調査員代表 枚方市立交北小学校長 梶山 佐由里 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・東京書籍は、身のまわりの文字の事例が多く、日常生活や学習活動に活用できる題材が充実しており、書写の学びを生活に生かす工夫が見られる内容となっている。そして、光村図書では、教材の手本が大きく示され、目標やポイントが、余白を多くとることでわかりやすく配置されており、学びやすく、教えやすい内容となっている。また、「別冊書写ブック」や「書初めマスターブック」をはじめとする、書写学習の基礎・基本が掲載されている資料が豊富であるという、よい特長が認められる。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。意義はないか。

<異義なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 音楽】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<音楽科調査員代表 枚方市立長尾中学校長 葉山 秀樹 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いする。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・多様性を意識したユニバーサルデザインはこれからの社会ではとても重要な要素となる。この観点からみて、各発行者の教科書ではどのような工夫があるのか説明願う。

調査員代表

・教育出版では、全ての生徒にとって使いやすいようにレイアウトや写真、イラスト、図などが配慮されている。また、色覚等への特性を踏まえ、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントの使用など、配慮されている。教育芸術社においても、すべての生徒にとって使いやすいようにレイアウトや写真、イラスト、図などが配慮されている。さらに全体に区別しやすい配色を用いながら、確実に識別できるよう工夫されている。楽譜を含めた多くのページでユニバーサルデザインフォントを使用し、だれも見やすい工夫がされている。

千原委員

・子どもたちの学びを促すためには、主体的に取り組めるような課題設定が必要である。子ども達の興味や関心を深めつつ、主体的に取り組めるような課題設定について各発行者の教科書にはどのような工夫がみられるのか説明願う。

調査員代表

・教育出版「音楽のおくりものⅠ」（一般）の38・39ページ、創作教材＜音のスケッチ＞では小学校から継続的にリズムや旋律を作ったり音を音楽へと構成したりする楽しさを、発達段階や能力に即して体験でき、かつ実践的な扱いになっている。教育芸術社「中学生の音楽Ⅰ」20ページ「My Melody」では、旋律を作り、38ページの「Let's Create」では、小学校における学習内容を踏まえながら、楽しくわかりやすく学習活動が行われるように工夫されている。また創作したものをリアルタイムで即再現できるためのデジタルコンテンツが充実している。

中田委員

・生徒に我が国の国歌について理解させ、これを尊重する態度を育てることは重要である。そのような観点から、国歌「君が代」について、2者の取扱いに、ちがいはあるか。

調査員代表

・教育出版「音楽のおくりものⅠ」86、87ページでは、細石の写真とともにサッカーワールドカップでの写真を使用し、国際的な場でも演奏される様子を伝えている。教育芸術社「中学生の音楽Ⅰ」98、99ページでは、国旗についても触れ、国際的な儀礼的要素を持った扱いとしている。

井手内委員長

・他に質問はないか。ないようであれば引き続き、音楽器楽合奏について、説明を願う。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で何か質問はないか。

田中副委員長

・学習の効果があがるように教科書の構成をどのように工夫するかということは重要な要素である。両発行者ともに適切に組織・配列されていると思うが、その中でも学びを深める課題が示されている部分を具体的に示しながら、説明願う。

調査員代表

・両発行者共に教科書全体に学びを深める工夫がなされているが、一例として示すと、教育出版「音楽のおくりもの Ⅰ」の 18 ページ「深めてみよう」では、習得した内容をより深めることができるよう組織・配列されている。教育芸術社「中学生の器楽」の 17 ページ「学びのコンパス」では、習得した内容をより深めることができるよう組織・配列されている。

井手内委員長

・実社会での音楽との関わりやその役割について考えることも必要だと考えるが、器楽の分野において、それぞれの教科書にどのような扱いがあるか説明願う。

調査員代表

・両者とも実社会との関わりを考えさせる題材を掲載している。具体的には教育出版「音楽のおくりもの」中学器楽 58 ページにおいて、太鼓と行事や祭りとの関わりや、現代曲での利用が紹介されている。90・91 ページでは、神戸 21 世紀・復興記念事業のために作曲された「千の海響」から生まれた作品「千の海響望の章」を取り扱っている。教育芸術社「中学生の器楽」50 ページおよび 56 ページにおいては、郷土の祭りや芸能が紹介されている。また、68・69 ページでは沖縄を拠点に、自然体の言葉で平和を願うメッセージを発信しているバンドを楽曲とともに取り扱っている。

中田委員

・令和 3 年 1 月の中央教育審議会答申では「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげるよう示されている。各発行者が教科書全体で「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための工夫をされていると考えるが、特に「協働的な学び」を促す題材があれば説明願う。

調査員代表

・教科書内でグループ活動を前提としている題材を紹介する。教育出版「音楽のおくりもの」中学器楽 74 ページ「どこかの街で不思議な旋律 PARTⅠ」において、グループごとに発表することやパート分けする場面がみられる。教育芸術社「中学生の器楽」80 ページでは、「千の風になって」を題材にアンサンブルを協働で演奏することや、「学びのコンパス」でパートの役割を考える場面がみられる。

千原委員

・音楽は、一般と器楽合奏があるが、それぞれ別の発行者を採択してもよいのか。

調査員代表

・一般と器楽合奏は同一の発行者であると認識しており、これまで、別々の発行者になったことはないと思う。音楽の教科書では音楽の見方・考え方及び資質・能力を伸ばすため、歌唱・鑑賞・創作・器楽と関連付けて学習することが求められている。そのような観点から見てみると、両発行者とも、それぞれの活動の中で関連付けて音楽に関わる姿勢を伸ばすような編集がされている傾向がある。そのため、一般と器楽合奏を別々の発行者にすることは、好ましくないと思う。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書、音楽の一般、器楽合奏、それぞれ1冊あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・それぞれどちらか1冊挙げるということであれば、特に創作活動において、生徒が主体的に取り組めるよう考慮し、非常に使いやすく、音楽が創作できる点で、教育芸術社の教科用図書であると判断する。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<音楽科調査員代表 枚方市立長尾中学校長 葉山 秀樹 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・教育芸術社は、創作活動において生徒が主体的に取り組むよう考慮し、非常に使いやすい点が良い特長であると判断するが、いかがか。

<異義なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 技術・家庭科】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<技術・家庭科調査員代表 枚方市立第四中学校長 鴨田 慎司 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

千原委員

・技術分野における目標として、「生活や社会で利用されている様々な技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。」とある。これらの知識や技能を生徒が習得するために、指導者側が専門的かつ安全に指導がしやすいように、各発行者はどのような工夫がされているのか教えていただきたい。

調査員代表

・三者ともに写真や絵などでビジュアル的に見やすく改良されていること、また目次やガイダンスで年間計画や単元計画が立てやすくなっていること、さらには見開きで学習のめあて、課題、取組、まとめ、振り返りといった学習の流れがつかみやすくなっているといった工夫がされている。学習者はもちろんのこと、指導者側にもとっても使いやすい教科書のつくりとなっており、資料やワークシートなどの教材がデジタルで用意されていることから指導者の準備負担の軽減にも役立つといった工夫が見られる。その上で、例えばのこぎりで木材を切断するという工程で比較すると、東京書籍 26、27 ページでは、27 ページの右上に二次元コードがあり、安全面にも配慮しながら動画で解説がされている。左利き用もある。このようなデジタルコンテンツが 412 あり、教師用指導書には指導書コンテンツライブラリーが用意されているなど、実践的なポイントを指導者向けに詳しく解説するなどの工夫が見られる。教育図書 38、39 では、39 ページの右下に二次元コードがあり、安全面にも配慮しながら動画で解説がされている。このようなデジタルコンテンツが約 120 あり、指導者向けに安心して授業に臨むことができるなどの工夫が見られる。開隆堂 78、79 ページでは、79 ページの右上に二次元コードがあり、安全面にも配慮しながら動画で解説がされている。このようなデジタルコンテンツが約 400 あり、学習指導書には附属の指導者用デジタル教科書があり、資料などの各種ワークシートにはデータが加工できる形で収録されているなどの工夫が見られる。

中田委員

・技術分野の目標として、「生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。」とある。すなわち、技術に関わる問題解決的な学習を行い育成する必要がある。こうした観点において、各

発行者はどのような工夫がされているのか説明願う。

調査員代表

・三者とも全ての学習内容において、課題解決学習を念頭に置いた構成になっている。問題の発見、課題の設定、計画、実践、振り返り、といった学習の流れである。振り返りでは、評価・改善を意識させ、再計画もみられる。東京書籍 106、107 ページ、各章の終わりに設けている「問題発見と課題の設定」の 107 ページ右上にある二次元コードを読み取ると、107 ページの図3にある「フィッシュボーン」という思考ツールをダウンロードして使うことができる。他にも、機構や電気回路のシミュレーションツールなどもあり、生徒が試行錯誤しながら課題解決に挑戦できるコンテンツが豊富に用意されている。教育図書 90 ページ、各章の構成にある「身近な問題を解決してみよう」の 94、95 ページでは、問題解決のための育成計画育成シートが 95 ページ右下にある二次元コードを読み取ることでダウンロードして使うことができる。他にも、設計計画シートや問題解決レポートなど、各種ワークシートを PDF として印刷して使用することで課題解決に何度でも挑戦できるようになっている。開隆堂 148、149 ページ、各章の終わりに設けている「問題解決の評価・改善」の 148 ページ右上にある二次元コードを読み取ると 149 ページと同じワークシートを PDF でダウンロードして使うことができる。このワークシートを活用して各章に掲載されている実習例に取り組むことで問題発見から課題の設定、構想・計画、育成、評価改善といった流れで学習に何度でも挑戦できるようになっている。

千原委員

・技術分野の目標として、「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。」とある。実社会とのつながりという部分において、各発行者はどのような工夫がされているのか、説明願う。

調査員代表

・三者とも「技術と社会とのつながり」について理解を深められるように、SDGs など地球規模や現実社会において発生している課題などを紹介し、実際に働く人たちやメッセージを紹介して自分ごととして考えさせるなどの工夫がされている。東京書籍 11 ページでは、11 ページ右上の二次元コードを読み取ると SDGs の特設ページに入ることができ、地球上の課題に触れることができる。また、264 ページでは、実際に働く人が「技術の匠」として紹介されている。合計 33 名の職業人が章末だけでなく、あらゆるページで登場するなどの工夫が見られる。教育図書 67 ページにおいては、町工場の技術として職業人の「スゴ技」が紹介されている。右下の二次元コードを読み取るとインタビューを動画で視聴することもできる。また、67 ページの中段に SDGs のマークがあり、学習内容と関連のある社会問題を身近なものに結びつけるなどの工夫も見られる。開隆堂 75 ページでは、環境に関わる内容には右下の「環境」マークが示されている。同ページの最後にあるように SDGs の目標をどう達成するかをワークシートの中で考える活動も扱っている。また、284 ページでは、インタビュー形式で職業人を紹介し、人物を通して技術と将来がイメージできるような工夫も見られる。

井手内委員長

・他に質問はないか。ないようであれば、引き続き家庭分野について、報告を願う。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で何か質問はないか。

田中副委員長

・家庭分野における目標として、「家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。」とある。これらの知識や技能を生徒が習得しやすくするために、各発行者はどのような工夫がされているのか教えていただきたい。

調査員代表

・三者とも、知識や技能を習得しやすいよう学習の流れが見える構成に工夫されている。目標、学習課題、内容、活動、まとめや振り返りである。また、技術と同様、各者ともデジタルコンテンツが用意されており、動画やワークシートといった教材や資料等、学習者の支援ツールも充実している。東京書籍 30、31 ページでは、基本フォーマットとして、左上から「目標」問題の発見として「レッツスタート」「学習課題」説明の本文・図版・資料、活動として 30 ページ右下にある「考えてみよう」、最後に 31 ページの一番下にあるようにまとめの活動として「生活に生かそう」となっている。また、判別しやすく刺激の少ないフォントやカラーユニバーサルデザイン、右上の二次元コードで関連のあるデジタルコンテンツが取得できる。教育図書 72、73 ページでは、基本の流れとして、72 ページ左上「めあて」、右上「見つめる」、テーマとなる「学ぶ」、その下「見つめてみよう」、本文や絵・図、資料があり、73 ページの右「話し合ってみよう」などの活動があり、最後に一番下「振り返る」となっている。また、写真やイメージしやすいイラストなどで工夫されている。75 ページの右下にあるように、二次元コードから関連のあるデジタルコンテンツが取得できる。開隆堂 90、91 ページでは、基本の構成として、「タイトル」、右上「学習の目標」、卵のキャラクター「身近な課題」、本文や絵・図・資料である。ページによっては 90 ページのような「先輩からのエール」や 91 ページの右中段「参考」、最下段にある「豆知識」、また学習内容ごとに「調べてみよう」や「まとめ」といった構成になっている。97 ページの右上にあるように、二次元コードから関連のあるデジタルコンテンツが取得できる。

中田委員

・家庭分野の目標に、「家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。」とある。家庭分野に関わる問題解決的な学習として、各発行者ではどのような工夫がされているのか説明願う。

調査員代表

・東京書籍 28、29 ページではキャラクターの吹き出しで問題発見を促し、右下のように自分だけの課題を

設定するようになっている。62、63 ページでは、内容に応じた学習課題が提示され、計画を立てるようになっている。84、85 ページでは実習例を参考にして実践し、自己評価や改善点など振り返りをするという流れで問題解決的な学習の工夫が見られる。教育図書 78、79 ページでは、78 ページにある写真やイラストなどを手掛かりに、一番下にあるような自分だけの課題が設定できる。79 ページの左半分の「問題解決のための流れ」にそって、附属の記入用記録レポートを右下の二次元コードからダウンロードして使用する。課題設定のヒントとして 79 ページの最下段の例などの工夫も見られる。開隆堂 294、295 ページでは、これまでに学習してきたことを踏まえて、294 ページに課題発見から振り返りまでの一連の流れがみられる。295 ページには多様な取組みとしてヒントが掲載されている。298 ページでは、具体例として、調理の実践例が示されている。このように課題解決学習の実践として工夫が見られる

田中副委員長

・家庭科分野の目標に、「自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。」とある。実践的な態度を養う工夫として、各発行者ではどのような特長があるかを説明願う。

調査員代表

・東京書籍では、「やってみたい!」を促すものとして豊富な実習例が掲載されていることや基礎技能の確実な定着が図れるような工夫が見られる。また、学習意欲を高める工夫としてビジュアル的な紙面にもこだわっているように見受けられる。128、129 ページでは縫い方がわかりやすく手順で示されており、129 ページのような失敗例があることが特徴的である。右上には二次元コードもあり、基礎技能の習得を動画でも支援している。131 ページの右上にあるような「プロに聞く!」などもおりまぜながら、152 ページの実習例など布を用いた制作が 36 題材も掲載されている。同様に、調理実習例は 61 題材ある。教育図書では、「つくってみたくなる、取り組みやすい実習題材」として、調理実習が 44 事例、布を用いた制作が 7 事例掲載されている。190、191 ページでは、特長的なものとして大きさを自分で決められる制作実習がみられる。191 ページの左半分のようにわかりやすく手順が図示されており、190 ページ上部のようにイメージが広がる完成写真が豊富に掲載されている。一つ前のページには防災袋の実習例がある。189 ページの右下の二次元コードで動画を視聴できることで技能習得を支援している。また、197 ページのように「先輩に聞こう!」のような衣装デザイナーの紹介なども実践的な態度を養う一つである。開隆堂では、「基本はしっかり、実践したくなる学び」として、調理実習が 43 事例、布を用いた制作が 11 事例掲載されている。128、129 ページではビジュアルが印象的な完成写真とわかりやすい手順写真が示されている。下段にある調理方法 Q&A は、生活の「なぜ?」に気づけるような工夫がある。129 ページの右下には肉の過熱による変化が写真でわかりやすくなっている。同ページの右上の二次元コードで動画を視聴することで小学校の基礎技能を振り返ることもできる。160、161 ページの地域の食文化が豊富な写真で掲載されており、171 ページには「先輩からのエール」で学ぶことで、実生活につなげる工夫も見られる。

井手内委員長

・技術と家庭、それぞれで、本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・どの教科書も、生徒にとってわかりやすいように工夫されているが、2者となると、技術分野としては、東京書籍、教育図書である。両発行者とも、特に、問題発見から課題の設定、振り返りに至るまで、問題解決的な学習において、「学び方の工夫」が充実しており、生徒が見通しを持って学習に向かうことができる。また、東京書籍については、特にデジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学びにも協同的な学びにも使用できるツールが豊富で、主体的な学習者の育成という点において、学習者にも授業者にも大変有効であると感じた。教育図書については職業人のインタビューを動画で視聴することができる点が良い点と考える。家庭分野としては、東京書籍、開隆堂、である。両発行者とも、ビジュアル的にも、また写真や絵など資料も豊富でわかりやすい構成になっている。東京書籍については、技術と同様にデジタルコンテンツが充実しており、他教科や小学校の学習との関連においても大変便利であると感じた。開隆堂は SDGs の目標をどう達成するかをワークシートの中で考える活動を扱っている点が良い点と考える。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<技術・家庭科調査員代表 枚方市立第四中学校長 鴨田 慎司 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・技術分野においては、東京書籍は、デジタルコンテンツの充実に加え、小学校との関連も含めた学び方の工夫が見られる点が、そして教育図書は、職業人のインタビューを動画で視聴することができる点が良い特長であると判断するが、いかがか。また、家庭分野においては、東京書籍は、デジタルコンテンツの充実に加え、小学校との関連も含めた学び方の工夫が見られる点が、そして開隆堂は、SDGs の目標をどう達成するかをワークシートの中で考える活動を扱っている点が良い特長であると判断するが、いかがか。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。異義はないか。

<異義なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

(4) その他

(5) 閉会の挨拶

井手内委員長

- ・国語、道徳、社会歴史、理科、書写、音楽、技術家庭についての調査報告並びに審議が終了した。各種目・教科ごとに確認した意見は、教育委員会に答申としてまとめさせていただく。答申の様式等については、私、委員長の方に一任していただきたい。

<異議なし>

井手内委員長

- ・責任をもって、答申を行わせていただく。今月下旬に実施予定の教育委員会会議において教科用図書の採択が行われ、採択事務が終了した後は、当選定委員会委員の所属・氏名及び議事録は、本市情報公開条例にもとづき、公開対象となるため、申し添える。最後に支援学級における教科用図書について、担当に説明を求める。

教科書担当

- ・支援学級における教科用図書については、文部科学省より送付された教科用図書目録に掲載されている教科書のうちから採択すること、または、学校教育法附則第9条により、文部科学大臣の検定を経た教科用図書、または、文部科学省著作の教科用図書以外の図書、その他の教材で、有益適切なものは、これを使用することができるとなっている。例えば、ボランティア団体が作成している拡大教科書や点字教科書も含まれる。現在、教育委員会事務局で、これらの教科用図書を必要とする児童・生徒の把握に努めているところであり、必要とする児童・生徒が判明した時点で、教育委員会において採択することになる。

井手内委員長

- ・担当からの説明があったように、必要とする児童・生徒が判明した場合、教育委員会で採択していただくよう議案提出の手続きをとるため、了解をお願いする。
- ・以上をもって、本日の予定はすべて終了である。最後に田中副委員長から挨拶をお願いする。

田中副委員長

- ・令和7年度使用中学校教科用図書の選定のために様々な角度から、熱心なご検討をいただいた。来年度から本市生徒が使用する最良の教科書を採択すべき教育委員会に対して答申する、当選定委員会としての一定の意見をまとめることができたと思っている。保護者の代表として牧村様、中山様にも加わっていただき、充実した選定委員会を行うことができ、感謝を申し上げる。

井手内委員長

- ・これをもって、第4回選定委員会を終了する。